出会いで変わること
～出会って話して寄り添って～

　10 月期の第七合同民生・児童委員協議会の研修は、「児童」に焦点を当て「子どもの貧困と支援」をテーマに開催されました。
　足立区の現状は足立区子どもの貧困対策・若年者支援課の祖傳課長に、支援の実情はあだち子ども支援ネットの大山さんに講演いただきました。大山さんのお話では、出会い、寄り添い、話す、これを続けていければ、子どもの気持ちに変化が生まれ、心が豊かになっていくことを、体感として教えていただきました。
　参加者の皆さんが感慨深いご様子で聴講されていたのが印象的でした。

小宮会長より、「1年ぶりに一同に会しました。また、違う気持ちでスタートしていきましょう」と、緊急事態宣言後の初のご挨拶。全体の士気があがります。

あだち子ども支援ネットの代表大山氏。これまで様々な環境にある子ども達と過ごしてきた経験から「子どもをど真ん中に考えて家庭まるごと大事にしましょう」という話が印象的でした。

祖傳課長からは施策についてご説明がありました。足立区では、色々な状況にある子ども達と色々な大人たちと出会う場が徐々に増えつつあるそうです（フードパントリーや子ども食堂等）。

取材日　：令和３年１０月２６日（火）　　参加者数：　約７０名
取材メモ：皆さんのご様子や「是非またこのような機会を持ちたい」という閉会のご挨拶から、とても充実した研修であったと感じました（田谷典子　久米薫）
問合せ先：地域福祉課　☎６８０７－２４６０　FAX５６８１－３３７４